

9月号



どろんこだより

残暑が厳しく感じる日が続いているが、虫の奏でる音色が涼しさを感じさせる季節がもうすぐそこまでやってきています。9月は自然に触れて体験するには一年の中でももってこいの季節です。雨でない日は毎日散歩に出かけ、秋の自然を肌で感じながら、子どもたちの主体性を大切に一日一日過ごしてまいります。

9月のうた

- ♪赤とんぼ
- ♪まつぼっくり
- ♪もみじ
- ♪どんぐりころころ
- ♪大きな栗の木の下で

9月のさくらさくらんぼリズム

- ♪金魚
- ♪かめ
- ♪うさぎ
- ♪とんぼ
- ♪両生類のハイハイ
- ♪糸車

8月の畠仕事報告



雑草取り

真似をしながら草取り

「採れたトマト入れよう」

8月の活動報告



「みつけた！」

寒天で感触遊び

並んで読書中

「これ何虫？」

湯上の牛乳

手作り味噌で五平餅

9月の予定



	金	担任体育指導
2日	土	
3日	日	
4日	月	担任音楽指導
5日	火	スタッフ検便投函/利用者アンケート終了/担任のびのび指導 絵具遊び
6日	水	内科健診(0歳児)/商店街ツアー@読売センター
7日	木	園会議/担任体育指導
8日	金	
9日	土	
10日	日	
11日	月	シニア交流@信愛デイケアセンター/担任音楽指導
12日	火	バス遠足@新座市児童センター(雨天決行)(2歳児)/ 徒步遠足@竹丘緑地公園(3-4-5歳児)/徒步遠足@赤松保全林(0歳児)/徒步遠足@院内(1-2歳児)/担任のびのび指導
13日	水	銭湯(バス)@みどり湯
14日	木	商店街ツアー@まつや寝具店
15日	金	担任体育指導/避難訓練
16日	土	
17日	日	
18日	月	
19日	火	担任のびのび指導
20日	水	身体測定/乾物でのおやきとチヂミづくり
21日	木	商店街ツアー@まつやま薬局
22日	金	担任体育指導
23日	土	
24日	日	
25日	月	写真販売/担任音楽指導/衛生管理点検
26日	火	担任のびのび指導/課外稲刈り
27日	水	課外稲刈り
28日	木	商店街ツアー@清瀬市立中央図書館/青空保育@中央公園
29日	金	担任体育指導
30日	土	
農業計画		土壌改良／植え付け：大根・人参・ほうれん草

＜点検報告＞

- ✓ 8月12日に避難訓練、8月25日に衛生管理点検を実施しました。
- ✓ 9月15日に避難訓練、9月25日に衛生管理点検を実施予定です。

日本は今まさに“インクルーシブ保育”へ向けて動き始めています

私たちは2014年に発達支援事業部を創設し、10年間にわたって認可保育所と児童発達支援施設の“一つ屋根の下完全併設施設”的開設・運営に注力してきました。私たちが定義する“完全併設”とは、「認可保育所と児童発達支援施設の双方の子どもが交わって生活し、双方のスタッフが双方の子どもを育て支援する姿」を意味しています。ところが、これまでの「認可保育所と児童発達支援施設の双方の子どもが交わってはいけない」「スタッフが双方支援してはならない」という日本の法の下では、私たちがやってきたことは相反することであり、行政から「一緒に散歩へ出ないように」と指導を受けたこともあります。こうした背景を受け、これまでの日本には「同じ敷地に隣りあわせて施設が建っているが入口も生活スペースも別々である施設」が幾らかはあったものの「完全併設施設」は前例がなく、市区議会における認可保育所と障害者施設の予算の出どころも異なる施設の立上げは障壁の連続でした。2021年以降、私たちは「形式的ではなく、実質的インクルーシブを行うための制度の創設」「施設要件の緩和・区画壁の撤去」を求めて内閣府大臣政務官や内閣府規制改革推進室との意見交換を重ねてきました。ちょうど時同じく、昨年9月9日に国連が日本政府に対し「障害のある子どもにインクルーシブ教育の権利を」という勧告を発出。11月30日に厚労省は「双方の子の交流OK」「スタッフの双方支援OK」へと省令を改正しました。「障害がある子を守る福祉」から「親が居なくても自分の足で歩んでゆくための福祉」へ~私たちは走り続けてまいります。